

## 3D グローバリゼーションの中のスポーツ規範の揺らぎ

草 深 直 臣

愛知県生まれ、東京育ち。スポーツ哲学、スポーツ規範論・スポーツ政策論。『体育・スポーツの戦後改革』を踏まえて、スポーツの意味と価値を問う。現在は、スポーツ規範の揺らぎに着目し、アマチュアリズムの崩壊過程を、IOCとIF'sの相克の中で実証している。趣味は多彩。

### 1. 専門演習の目標

スポーツのビジネス化・プロ化によって、勝利至上主義と成果報酬主義が強まる今日、改めて、スポーツの意味と人間的価値を問い直し、国民のスポーツ権の実現の方向性を展望する。

### 2. 専門演習で扱う課題と内容

世界的規模で展開されるスポーツビジネスの発展によって、スポーツの内実が揺れ動いている。その現実的問題を以下のような小テーマを究明しながら、スポーツの未来像を展望する。

- 1) 国境を越えるスポーツ・イベントと国籍条項
- 2) ナショナル・チームとナショナルティ・ナショナルリズム
- 3) アンチ・ドーピング運動とフェアプレイ
- 4) スポーツゲームに潜む【思考様式】
- 5) スポーツ応援と観賞・評価
- 6) 総合型地域スポーツクラブの行方
- 7) 武道はスポーツか？
- 8) スポーツ報道がスポーツ観に与えた影響

### 3. 授業の進め方・内容

3回生時には、上記のテーマを選択したグループ（3から4人）をつくり、まず、必要な文献・資料の収集と批判的検討を含む5～6回のプレゼンテーションを通じて、課題を明らかにして、グループ・レポートをまとめる。

4回生時は、さらに問題を絞り込んだテーマを個人ごとに設定し、卒業論文を作成する。

### 4. 必要とする知識

最低限、「現代とスポーツ」は履修しておくこと。

### 5. 関連する分野・科目・知識

スポーツ系科目のすべて

### 6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

多木浩二「スポーツを考える」（ちくま新書）

中村敏雄「近代スポーツの実像」（創文企画）

### 7. 独自に付加する選考方法

とくになし。

### 8. 受講生に望むこと

スポーツ文化はもはや経験則では測れない広がりと深さを持っている。自分の体験を突き放して、その内実を投射し、グローバルな時代のスポーツ変革をめざす気概のある青年を望む。